

1	火	頭髪検査
2	水	
3	木	
4	金	園開放
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	園開放
12	土	
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	身体計測
16	水	みみょう文庫
17	木	
18	金	園開放
19	土	東雲みみょうフェスティバル
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	園児健康診断(内科)
25	金	園開放 避難訓練・誕生日会 みみょうっこFAMILY(きりん)
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	園児健康診断(眼科・耳鼻科)

11月の予定

- 11月12日 七五三パーティー
- 11月15日 避難訓練・誕生日会
- 11月16日(土) 第二みみょう3歳児お楽しみ会(ミニ発表会)

消さないで

あなたの心の 広島市南消防署  
注意の火 警防課 救助係



園庭から空を見上げると、うろこ雲が浮かび風も少しづつ涼しく、秋の訪れを感じます。

子どもたちが植えた、河内晩柑(柑橘系果物)の種が芽を出し、その葉にちょうちょうが小さな卵を産みました。子どもたちは、何度も葉の上をひらひらと舞うちょうちょうに気が付き、卵を産む瞬間を見た子どももいます。今では、数匹のあおむしが生まれ、おいしそうに葉を食べています。あおむしの色も日に日に変化し、絵本に登場するあおむしのようで、毎日「あおむしさん、おはよう」と声を掛けたり、「おや はっぱのうえに〜♪」とはらぺこあおむしのかわいい歌声も聞こえます。そして数日後、あおむしがさなぎになり、あげは蝶になったのです。2歳児きりん組さんはみんなで喜び、1歳児こじか組さんは「ちょうちょうになったねー」とお話ししてくれました。赤ちゃんたちも、きりん組・こじか組さんたちが興味・関心を持っている姿をいつも側で見ています。また、送迎時、お家の方とあおむしの成長や変化を毎日楽しみにしている姿や、親子でのぞき込んで、やりとりしている姿を側で見ていて、心温まる素敵なひとときに出会い、嬉しく思っています。

園庭では「ミニアトリエ」を環境として用意することで、子どもたちはたくさんの素材や道具に触れ、やってみたい思いを全身で表現しています。絵の具の色が混ざる不思議さをじっと見つめ、指で混ぜてみたり、水を足してみたり…まるで実験をしている研究者のようです。子どもたちは、「なんでだろう?」「こうしてみたい!」など、じっくり考えて試しながら遊んでいます。

みみょう保育園の子どもたちは、大好きな大人に見守られる中で納得するまであそび、探求や追及を繰り返しながら、知りたい・やってみたいなど意欲が溢れています。側にいる私たち大人も、その中で生まれる思いやつぶやきを大切に、ていねいに受け止め、時には「なんでだろうね?」「どうしてそう思ったの?」と優しく問い、語り掛

「やりたいこといっぱい!みみょう保育園」

けることでもっともっと!知りたい意欲や思考も深まっています。

そして、乳児期のあそびや生活を通しての経験は、幼児期以降、自分の思いや考えを伝えたり、友だちと協力して、試したり工夫したりする学びに向かう姿につながっていくとともに、これからの教育に求められる思考力の芽生えや非認知能力(やりたいことを見つけ最後まで粘りよく前向きにやり遂げようとする生きる力など)を高める基礎となっていきます。

赤ちゃんの頃から、なんだろう?もってやってみよう!という、思いを大切にしながら、子どもたちが考えたり試したりできる、探求心をくすぐるような、豊かなあそびを用意して、夢中になってあそび込める環境の中で、「何かができるより、何かがしたくなる」子どもへと育ててほしいと願っています。

10月中旬には、「東雲みみょうフェスティバル」を予定しています。豊かなあそびを通して、子どもたちの目線や表情、じっくり考えている姿など、一緒に体験していただきながらお子さんの成長を感じていただけると嬉しいです。ぜひ、ご参加ください。



みみょう保育園 園長

子育て応援コラム

ゆれながら  
前へ進まず  
子育ては  
お前がくれた  
木馬の時間

歌人 俵 万智  
歌集「プーさんの鼻」より



子育ては、うまくいくことばかりではないですね。でもうまくいかない時も子どもはちゃんと育っているのです。

秋の夜長、少しの時間、絵本の読み聞かせを通じて親子の触れ合いの時間を持ってみませんか?きっとほかほか心が温まり落ち着くことでしょう。

東雲みみょうフェスティバル

日時: 10月19日(土)  
10:00~14:00

場所: みみょう保育園  
第二みみょうこども園・東雲本町公園  
(詳しい内容は別紙にてお知らせします)

